

「わがまち・ていね」探検隊！

～自然とのふれあいを再発見～

今月は手稲区の自然について、手稲山に詳しい「やまなみ手稲（代表 濱谷 義昭氏）」の皆さんの協力により、手稲山をはじめとする「わがまち・ていね」の自然について紹介します。

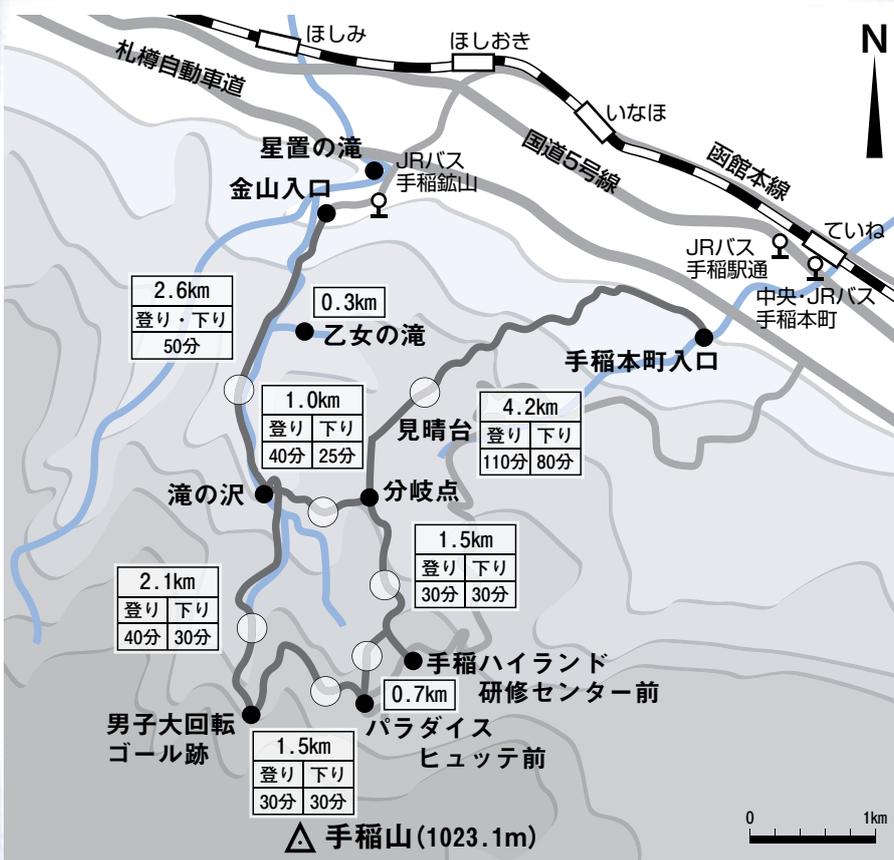
皆さんもこれを機会に、自然とふれあってみませんか。

《手稲山》

標高1023mの手稲山は、都心からわずか30分という身近な存在として市民に親しまれており、札幌市のシンボルであるとともに、手稲区のシンボルでもあります。

手稲区の街並みと石狩湾を一望できる手稲山は、四季の移り変わりを身近に感じさせてくれます。市内に春の訪れを告げる桜が咲き始めるころ、山頂付近にはまだ雪が残っていますが、山の中腹では新緑があふれています。手稲山を見上げると、そんな二つの光景を同時に楽しむことができます。

また、手稲山は自然の宝庫であり、エゾリス、キタキツネや鹿、そしてヒグマなどの動物も生息しています。



代表の濱谷さん

手稲山のお薦めポイント①

手稲山のふもと、星置川を沢づたいに登ると雄々しさのある「星置の滝」、さらに奥へ進むとネーミングどおりに優雅な流れの「乙女の滝」と、二つの滝を眺めることができます。

手稲山のお薦めポイント②

大自然に彩られた新緑の森、大都会の中の澄んだ空気、色とりどりに咲く草花を観察しながら登る手稲山。石狩湾から小樽の海まで見渡せる山頂からの眺めは絶景です。

また、手稲山から見る夕暮れ時の風景や夜景も綺麗です。



▲星置の滝



▲乙女の滝



▲手稲山から石狩湾を望む